

骨髄異形成症候群

—より良い治療とより良い治癒

MDS（骨髄異形成症候群）と診断されてもなかなか理解できません。治療期間がとても長い病気ですし、病気がいくつにも分かれていることや、それぞれの段階で治療法も少しずつ違います。病態、治療法について基本を理解することは、自身の状態を深く知る上で、またより良い治療選択をする上で、とてもたいせつです。

また、寄せられた質問へのアドバイスを共に聴いて、日頃の疑問や不安を解消し、闘病生活のヒントをたくさんつかんでください。質問・疑問をお持ちでしたら、どんなに個人的な問題でも遠慮せず質問用紙を出して「解決の1日」としてください。

主催：骨髄異形成症候群MDS連絡会

協賛：NPO法人血液情報広場・つばさ

日時 **2011年10月22日(土) 午後1時～5時**

会場 **京都テルサ 西館3階 第1会議室**

参加費：1,000円 ※参加申し込みは要りません

プログラム

座長 埼玉医科大学総合医療センター 木崎 昌弘 先生 司会 NPO法人血液情報広場・つばさ 橋本 明子 さん

開会のご挨拶

骨髄異形成症候群MDS連絡会 星崎 達雄

I MDSとはどのような病気か

◎ 血液と造血作用の基本を学び、骨髄異形成症候群という疾病をより良く理解しましょう。

MDSの病態と診断について

埼玉医科大学総合医療センター血液内科 木崎 昌弘 先生

II 最新のMDS治療の話題

1) MDSに対する薬物治療

大阪赤十字病院血液内科 渡邊 光正 先生

従来の治療に加えて、ピダーザ、レナリドマイドなどの新規治療薬の紹介、副作用の解説

2) MDSに対する造血細胞移植の現状と展望

神戸市立医療センター中央市民病院免疫血液内科 石川 隆之 先生

造血細胞移植の基本解説と、移植を選ぶタイミングについて

III MDSに対する治療支援

◎ 治療初期から始まる感染症対策 在宅での闘病上の留意点などを学び、考えます。

◎ 輸血のみの支持療法となったとき等、在宅医療はどこまで可能でしょうか。

MDSに対する支持療法の実際

金沢大学病院血液内科 山崎 宏人 先生

IV より良い闘病のために・・・何でも訊こう

講師全員

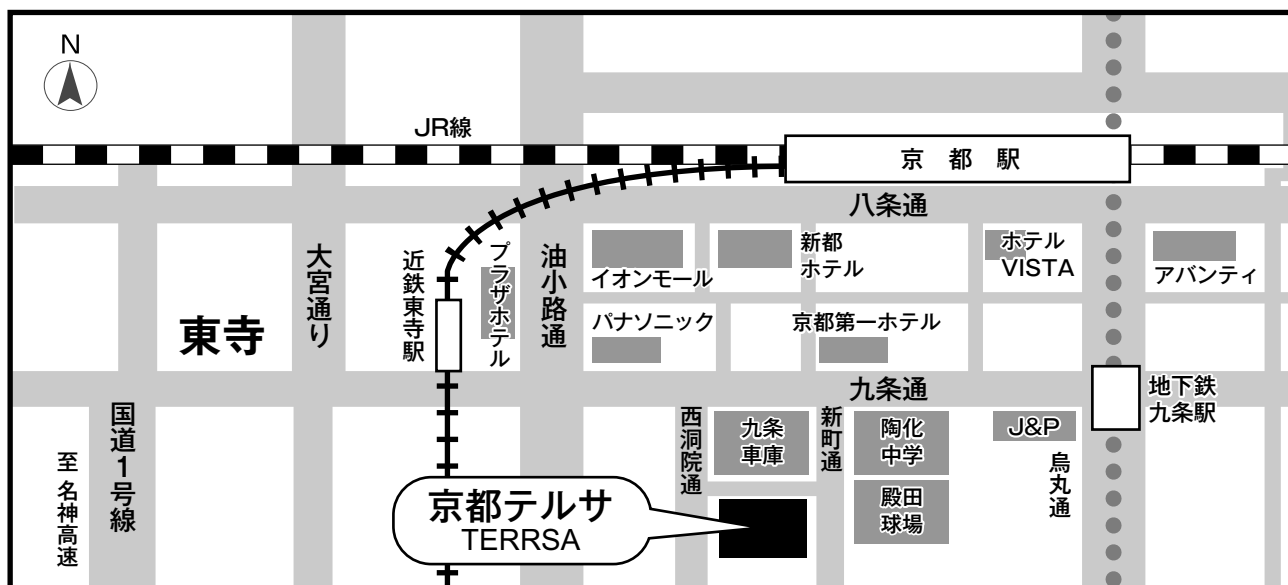
会場全体とのQ&A

閉会のご挨拶

骨髄異形成症候群MDS連絡会 山口 鋭一郎

会場案内図／京都テルサ

住所：〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地（新町通九条下ル 京都府民総合交流プラザ内）
TEL：075-692-3400



車椅子でご利用の方は事前にご一報ください（電話は、表面下段 一般問い合わせと同じです。）

MDS フォーラムでの質問（相談事）事前の受付 ※フォーラムへの参加申し込みは不要です

○A4以下の紙1枚に、下記の①～⑥を書いて送って下さい。（締め切りは10月19日必着まで）。

質問（相談事）は2件までで、1件を200文字程度で。

○質問内容は、個人的なことでも一般的なことでもかまいません。「これは個別相談の方が良い」と主催者側で判断した場合は、会場においでの方の講師とあなたに対応させていただきます。

※その場合、講師の指名はできませんのでご了承ください。

FAX送付の場合 03-3203-2570

郵便送付の場合 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町533 早稲田大学前郵便局々留

NPO法人血液情報広場・つばさ MDSフォーラム係

①病名

②患者さんの性別と年齢

③ご質問（相談）※2件までで1件は200文字程度。

漏えいがおきないように努めますが、病院名と医師名は書かないでください。ただし電話でお尋ねする場合がありますが、個別対応の場合に主治医と重複しないためです。以上、ご了承ください。

④ご相談者さんのお名前（会場に見える方。患者さんとの関係）

ご連絡先電話番号（必須です。個人情報として扱いますが、質問内容を確認させていただくためです）。

⑤フォーラム参加予定会場（例 沖縄 長崎 など）

※寄せられた質問（ご相談）は、全体会・講演、疾患別分科会Q&A、場合によっては個別相談などで対応されます。他の参加者のみなさんと一緒に先生方のアドバイスを聴き、より良い治療選択にいかしましょう。

※「こんな個人的なことでもいいのかな」と迷われても是非送って下さい。意外とたくさんの人が共通の疑問や不安を感じているものです。

※病気の理解、自分の場合はいつ移植を選択するか、白血病化したのだが再寛解導入の可能性はあるか、等々。また、退院後の生活、家族の問題（夫婦生活は可能？ 気持ちを理解されない等）、セカンドオピニオンの切り出し時…、なんでもこの際、どうぞ。